

商業部会長報告

会議名 第1回商業部会（オープン部会）

日時 2022年5月11日（水）10:00～11:30

場所 秋田県社会福祉会館「大会議室」

出席者 99名

内容

1. 情報提供

テーマ 「外旭川地区のまちづくりについて」

ゲスト 秋田市企画財政部 副理事兼まちづくり戦略室長 多可 和幸 氏

- ## 2. 報告
- (1) 2022年度秋田市プレミアム付商品券について
 - (2) 佐竹史料館改築基本計画について
 - (3) 千秋公園大手門の堀遊歩道整備基本計画について
 - (4) 東北絆まつり2022秋田について
 - (5) 2022年度広小路バザールの開催について
 - (6) 2022千秋蓮まつりについて
 - (7) 各種事業支援制度

- ## 3. 協議
- (1) 2022年度部会活動計画（案）について

※終了後、「外旭川地区のまちづくりについて」正副部会長等で意見交換を実施



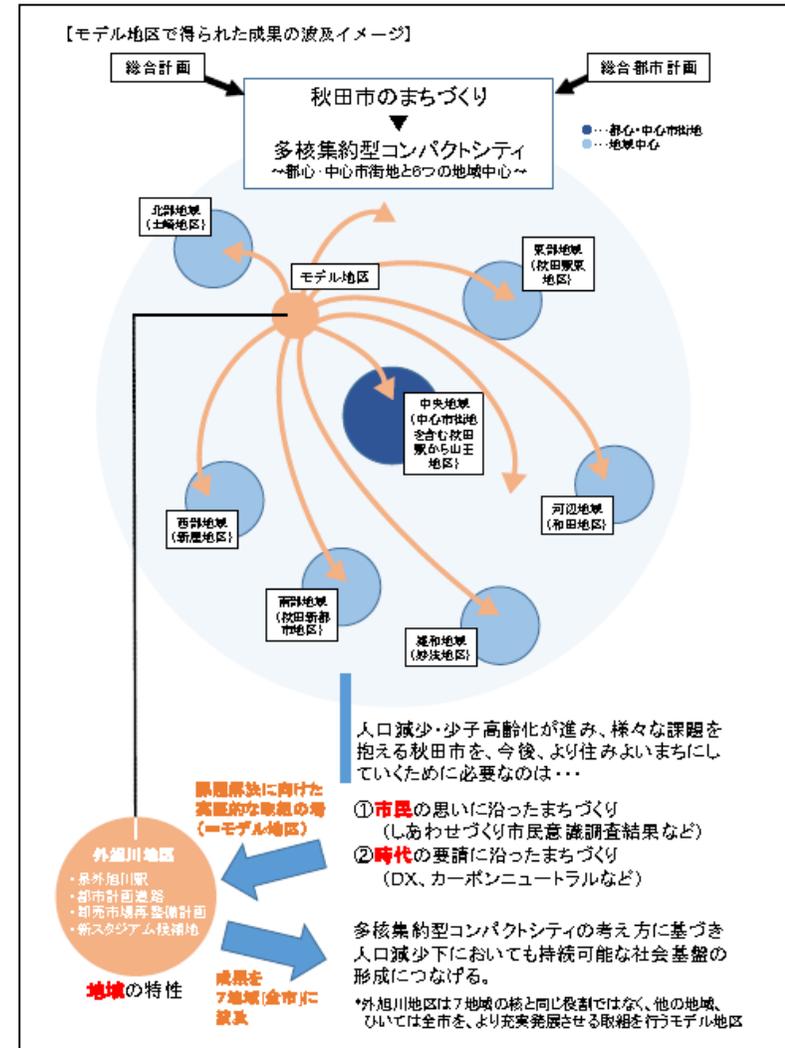
1 市のまちづくりの方針と外旭川地区のまちづくりについて

1. 第14次秋田市総合計画における考え方

- (1) 多核集約型コンパクトシティの形成
- (2) まちづくりのモデルとして外旭川をモデル地区とすることを検討

2. モデル地区で目指すもの

- (1) 人口減少下にあっても持続可能な社会基盤の構築を目指し、AI・ICTを活用したサービス導入により地域課題の解決に取り組む
- (2) 秋田市卸売市場は市が主体的に再整備し、市場運営の効率化を図るとともに、地域活性化につながる市場の付加価値を提供する
- (3) 外旭川地区を新スタジアムの候補地とし、民間主導で整備することで、賑わい創出、市民の健康増進、防災拠点としての活用等を目指す
- (4) モデル地区の成果を波及させ、市全体が若者にとって魅力のあるまちとなることを目指す



2 事業提案書の概要（提案事業者：イオンタウン(株)）

3月25日に行われた事業パートナー選定プロポーザル審査委員会において「イオンタウン(株)」が最優秀提案者に選定された。

※プロポーザル概要（秋田市HP） <https://www.city.akita.lg.jp/jigyosha/sonota-nyusatsu-keiyaku/1032914.html>

- ①秋田市中心卸売市場の再整備 ②新スタジアムの整備
③民間施設の整備 他 ※総事業費1,074億円



3 今後の検討体制・スケジュール（案）

1. 検討体制

- (1) 秋田市外旭川地区まちづくり庁内検討委員会における検討 ※全庁対応
- (2) 秋田市外旭川地区まちづくり懇話会（仮称）の設置
- (3) 卸売市場再整備および新スタジアムに関する検討

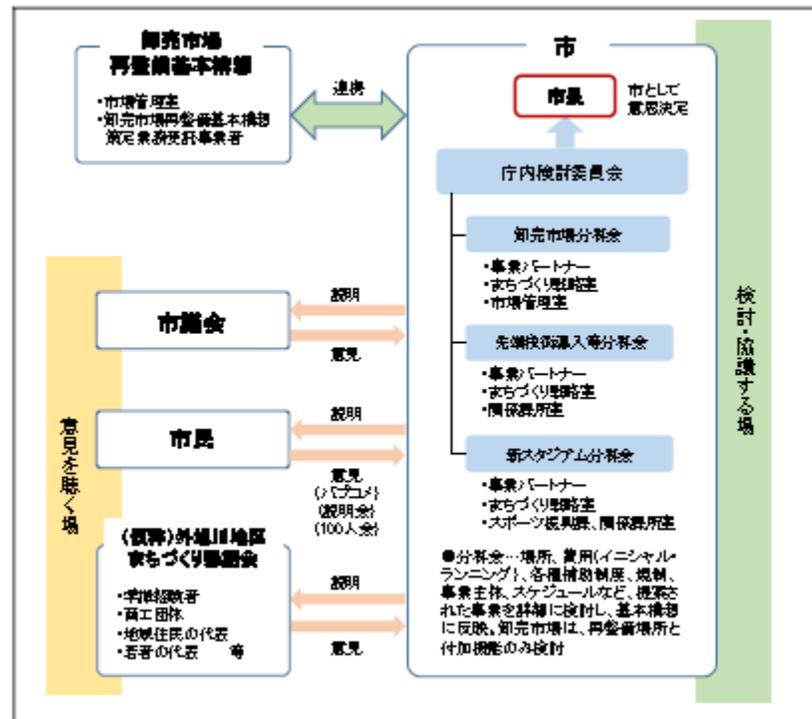
2. スケジュール

2022年6月：市議会に補正予算「外旭川地区まちづくり基本構想策定経費」上程

7月：秋田市外旭川地区まちづくり懇話会設置（以降、適宜開催）

2023年2月：市議会で基本構想案を説明（予定）

【検討体制のイメージ】



部会員の主な意見（Q：部会員の意見 A：秋田市回答）

- Q. 外旭川地区のモデル事例を中心市街地など市内他地域へどのように反映するかイメージが湧かない。秋田市の人口規模で、「中心市街地、御所野、外旭川」の3つに商業機能等を分散させることは、コンパクトシティの形成に相反すると考える。
- A. 秋田市として中心市街地の活性化は重要な案件であり、いただいた意見を参考にし、継続して取り組んでいく。
- Q. 観光分野の取組は他地域で既に取り組まれている内容であり、これで県外客を呼び込めるのか？インバウンドの回復を想定し、さらなる検討が必要である。
- Q. 県外客の集客ができれば外貨獲得に繋がるが、提案内容を見る限り県内客がメインとなると思われる。その場合、県内客による買物等消費額は、イオンタウン（県外）に流出する。
- A. 全庁で今後検討していくので、観光対策など専門部局とも相談しながら基本構想を策定したい。
- Q. 地元企業への発注を最優先とする方針を掲げ、地元之恩恵のある取組としていただきたい。
- A. 市としても地元優先で検討を進めていきたいと考えている。
- Q. 中央卸売市場やスタジアムなど各施設の整備以外にもインフラ整備費用が相当かかると予想され、秋田市の負担がさらに増すことが危惧される。